

特定非営利活動法人 東京都ローラースポーツ連盟 設立趣旨書

ローラースポーツ（ローラースケート、インラインスケート、スケートボード、スクーター等）は日本国民に広く愛好されているスポーツであり遊戯です。また、小さな子供から年配者までが同じように楽しめるスポーツです。

半面、競技として取り組む愛好者はまだまだ少なく、生涯スポーツとしての認知度も低いという現状があります。その簡易性から公共の場や道路などで滑走することにより迷惑行為、危険行為となることも危惧されます。

本連盟がこれまでの活動からローラースポーツを広く「競技スポーツ」として発展させるとともに、リクリエーションとして継続的に楽しめるスポーツであることを広く知ってもらうことにより都民のこころとからだの健康を維持する一端となり、また小さな子供から大人までがいつでも楽しめる生涯スポーツとして認知されることが望ましいと考えています。

「競技スポーツ」として発展させるためには「競技」そのものを広く知ってもらい、初心者から競技者に発展するためのステップを準備する必要があります。東京都の大会から将来的には全日本大会、国際大会に通じる選手を育成するためのジュニア育成教室や指導者の育成も並行して進めます。

「生涯スポーツ」として認知してもらうためには正しい滑走方法やマナーを広く啓蒙しだれもが安全に楽しく滑走できるようにする必要があります。年齢が上がるにつれて“怖い”、“危ない”と感じられることも、専用のリンクで、きちんとした防具を着け、立ち方、危険のない転倒の方法、無理のない滑走方法を指導することで解消することができます。ローラースポーツは”バランス“が重要なスポーツであり、立ち方、滑り方、危険のない転倒の方法を習得することで体幹が鍛えられます。壮年以降に取り組み始めた場合もランニングなどに比べて膝への負担がすくなく、体力増進や転倒防止につながることもこのスポーツに参加することの利点です。

また、ローラースポーツの教室に参加したりクラブに所属することで学校や会社以外のコミュニティが形成され幅広い人間関係の創出にもつながります。性別年齢に依らず対等に楽しめるスポーツであるため、お互いを尊重しあい認め合う精神を育みます。

これまでも我々は任意団体として普及活動として都民、および周辺地域の初心者、愛好者への教室の開催、一般のスケーターも参加できる大会の開催、資格試験の実施などに取り組んできました。健常者だけではなく障がい者を対象とした教室の開催や、大会への受け入れも実施して来ました。障がい者に関しては運動機能や知的機能の発達が期待され、また本人の生活意欲向上につながった実績があります。

令和4年には文部科学省より生涯スポーツ優良団体として表彰を受けています。

今回の趣旨を実現するために特定の選手に限った活動でなく、一般のスケーターまた、事業を推進するうえでボランティアとして参加いただける方々に対してスケートの楽しさをお知らせし、マナーを守って楽しんでもらえるよう啓発活動の強化が必要となってきています。そのために我々の活動に賛同してくれる誰もが参加できる団体である特定非営利活動法人となることを決意いたしました。

特定非営利活動法人となった暁にはこれまで通り定期的な総会の実施に加え法令等で定められた書類の作成・提出、一般市民への情報公開などを適切に行うことで、社会的信用を得、健全な法人運営が実現できると考えます。その基盤のうえで競技としてのローラースポーツの普及を通じて児童、青少年の健全育成や社会教育の推進を図り、一般市民への事業開催に加えマナーや生涯スポーツに関する啓蒙活動にも力を入れることが可能になると考えています。

【申請に至るまでの経緯】

昭和28年9月 任意団体「東京都ローラースケート連盟」発足

平成 14 年 6 月 「東京都ローラースポーツ連盟」に改称
平成 25 年 4 月 普及活動として「ローラースポーツフェスティバル」第 1 回を開催。
平成 25 年 9 月 「スポーツ祭東京 2013」でデモンストレーション競技として大会参加
令和 5 年 6 月 特定非営利活動法人 東京都ローラースポーツ連盟の設立準備を開始する
ことを東京都ローラースポーツ連盟総会にて承認
令和 5 年 10 月 特定非営利活動法人 東京都ローラースポーツ連盟の設立総会開催

令和 5 年 11 月 4 日

設立代表者

東京都江戸川区船堀 1 丁目 8 番 22-1802 号

氏名 宇田川 聡史